

第8回超音波とファインバブルの相互作用に関するシンポジウム 開催案内

(旧名 超音波とマイクロバブルの相互作用に関するシンポジウム)

本年度は、昨年までの本シンポジウムの名称「超音波とマイクロバブルの相互作用に関するシンポジウム」から、“マイクロバブル”を“ファインバブル”に置き換えました。これは、マイクロバブル、ナノバブルを総称してファインバブルと名付け、日本が主体となってISOでの国際標準化が進められている状況を反映して、ファインバブルという呼称が用いられるようになった為です。ナノバブルに関しましては、流体力学の専門家を中心に、その存在に懐疑的である研究者が少なくありませんが、その状況を踏まえ、科学的、工学的な議論を深めたいと考えております。また、名称は変更しましたが、従来通り、マイクロバブルに関する話題、とくに超音波の医療応用に関するトピックスを、中心課題として取り上げます。超音波科学、バブルダイナミクス、キャビテーション、ソノケミストリー、材料化学、薬学、DDS、生物学、基礎医学、診断・治療など幅広い領域の専門家にお集りいただき、実り多き議論をしてこの分野の新たな展開の場としていただければ幸いです。

本シンポジウムは日本ソノケミストリー学会主催で日本超音波医学会 超音波分子診断治療研究会の共催で行われます。名古屋で2回、東京で3回、滋賀で1回、そして昨年横浜で開催し、今回、名古屋での開催となります。

未筆ながら、本シンポジウムに協賛していただいた企業各位に感謝申し上げます。

主催 日本ソノケミストリー学会

共催 日本超音波医学会 超音波分子診断治療研究会

日時 平成27年11月7日(土曜日)13時00分より

場所 名古屋大学 工学研究科1号館142室(東山キャンパス)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

交通：名古屋市営地下鉄名城線 名古屋大学駅下車すぐ

参加費：無料

参加事前申込：不要

問い合わせ先：安井久一(産業技術総合研究所) e-mail k.yasui@aist.go.jp

Tel (052)736-7438 (直通)

プログラム（講演は、すべて招待講演）

13:00-13:05 開会挨拶（世話人代表 安井久一（産業技術総合研究所））

座長：近藤 隆（富山大学 医学部）

13:05-13:35 工藤信樹（北海道大学大学院 情報科学研究科）
「気泡と細胞の相互作用の側方からの高速度観察」
（連名者：五十嵐康信（北大院工））

13:35-14:05 鈴木 亮（帝京大学 薬学部）
「微小気泡を利用した超音波遺伝子デリバリー」
（連名者：小俣大樹、小田雄介、Johan Unga（帝京大薬）
根岸洋一（東京薬科大薬）丸山一雄（帝京大薬））

14:05-14:10 休憩

座長：梅村 晋一郎（東北大学大学院 医工学研究科）

14:10-14:40 藤仲潔（産業技術総合研究所 健康工学研究部門）
「超音波治療のためのモジュール化トランスデューサーの開発」
（連名者：竹内秀樹（産総研，東大）東隆、高木周（東大））

14:40-15:10 安田啓司（名古屋大学大学院 工学研究科）
「ファインバブルによるハイドレード生成と油滴回収」

15:10-15:15 休憩

座長：原田 久志（明星大学大学院 理工学研究科）

15:15-15:45 豊原治彦（京都大学 農学研究科）
「ファインバブル水を用いた放射性セシウム汚染土壌の効率的洗浄技術の開発」
（連名者：佐藤敦政（アース株式会社））

15:45-16:15 牛田晃臣（新潟大学 工学部）
「外部刺激を印加したファインバブル混合液の洗浄効果の検討」
（連名者：小山貴裕（新潟大院）中本義範（TECH Corp.）長谷川富市（新潟工短大）
鳴海敬倫（新潟大工））

16:15-16:20 休憩

座長：安田 啓司（名古屋大学大学院 工学研究科）

16:20-16:50 安井久一（産業技術総合研究所 無機機能材料研究部門）
「ウルトラファインバブルの動的平衡モデル」
（連名者：辻内 亨、兼松 渉、加藤一実（産総研））

- 16:50-17:00 企業紹介 1 ネットパジーン株式会社
17:00-17:10 企業紹介 2 株式会社カイジョー
17:10-17:15 閉会挨拶 (原田久志 (日本ソノケミストリー学会会長))